

祇園祭 (1968)

メディア 映画
ジャンル 時代劇
製作国 日本
色彩 Color
時間 168分
初公開日 1968/11/23
公開情報 松竹

【解説】

西口克己の同名小説を、鈴木尚之と清水邦夫が共同で脚色し、山内鉄也が監督した時代劇大作。企画段階から監督の交代、スタッフの降板、資金繰りの悪化など様々なトラブルに見舞われ、完成までに7年もの歳月が費やされた。

応仁の乱により京の都は荒廃、農村部では土一揆が巻き起こっていた。織物職人で笛が得意な新吉は、やはり笛の名手である女あやめと出会い、惹かれていく。新吉たちは細川家の依頼により山科へ出兵、京の町民と農民たちとの戦いが始まった。貧農に加勢する馬借の熊左と一戦を交え、ようやくこれを撃退した新吉だったが、実は町民も農民も侍たちの犠牲になっているだけなのではないかと、疑問を持ち始める。

【クレジット】

監督 山内鉄也
製作 小川矜一郎
久保圭之介
浮田洋一
遠藤嘉一
茨常則
中岡清
加藤彰朗
鈴木一成
企画 伊藤大輔
原作 西口克己
脚本 鈴木尚也
清水邦夫
撮影 川崎新太郎
美術 井川徳道
編集 河合勝巳
音楽 佐藤勝
疑斗 尾形伸之介
助監督 宮嶋八蔵
萩原将司 [助監督]
出演 中村錦之助 新吉
滝花久子 いち
佐藤オリエ お鶴

岩下志麻		あやめ
永井智雄		河原又四郎
田中邦衛		権次
志村喬		恒右衛門
田村高廣	Takahiro Tamura	助松
齊藤美和		お兼
藤原釜足		源蔵
小川吉信		源太
大里健太郎		常七
大木晤郎		平太
橋本仙三		佐助
沢淑子		およし
香川良介		文助
山口俊和		文七
小沢栄太郎		門倉了太夫
浮田左武郎		泉屋徳太夫
有馬宏治		柳屋辰右衛門
御木本伸介		丹波屋伝蔵
三船敏郎	Toshiro Mifune	熊左
尾形伸之介		岩十
下元勉		山科言継卿
渥美清		伊平
北大路欣也		於菟
関根永二郎		祇園社神宮
下條正巳		山科甚兵衛
堀正夫		頭領
市川裕二		百姓
加藤浩		政庁前の開闔
田中浩		中組路地開闔
河村満和		侍
春路謙作		白髪爺
中村時之介		関所の役人
玉生司郎		宰領
松山英太郎		職人
鈴木晴雄		職人
大東良		職人
片岡半蔵		彦爺
鈴木悦子		とよ
遠山金四郎		騎馬の侍
伊藤雄之助		赤松政村
伊藤寿章		細川晴元
高倉健		巽組代表
美空ひばり		町衆
香山武彦		町衆
中村賀津雄		町衆